

こんにちは 牛越です

【第179回】
猛暑に打ち勝つ



大町市長
牛越 徹

市では「水が生まれる大町

市」を広く発信するため「みずのわプロジェクト」に取り組んでいます。その一環で、水を活かした市の特産品として、サントリー天然水・北アルプスで造った氷を使用し、市内の飲食店がレシピを創作したかき氷を開発しました。「信濃おまぢ雪下かき氷」と命名して、4店舗が工夫を凝らした特色あるかき氷を4月に認定し、6月から販売しています。

雪のように真っ白なかき氷の中には大町産の食材が詰まっており、そこに自分でソースをかけて召し上がっていただきます。ぜひ市民の皆様にも、新鮮な感覚のふわふわのかき氷を五感で体感していただきたいと思います。

また、市内では、大町の夏を楽しむ「ひんやりスイーツフェア」を、カフェや菓子店18店舗で開催中で、ソーダなどの飲み物やかき氷、涼しげなゼリーなどのデザートや飲み物や買い物を楽しんでいただいています。そしてアンケートに回答したり、対象商品の写真を撮り、インスタグラムに投稿すると、抽選で景品が当たるなどのお楽

しみが付いています。

ところで、市では6月補正予算において、国庫補助を活用して、ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業補助金に1千万円を追加し、合わせて3千5百万円としました。この追加分の補助金は、国の推奨事業メニューのエアコン、給湯器の設置工事を対象として、省エネ性能の高いリフォームを進め、ゼロカーボンへの取り組みを促進します。

市では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを最小限に抑えるため、令和4年に、ゼロカーボンシティ宣言を行い、省資源、省エネに取り組みんでいます。

今年の夏は、梅雨入りはやや遅れたものの、6月中旬以降は気温も一気に上がり、先月上旬には既に気温38度を記録するなど全国的に猛暑に見舞われ、甲信越地方は7月16日現在、梅雨が明けてはいませんが、相当暑い夏になりそうです。市民の皆様には、猛暑に負わず、かき氷やスイーツで暑さをしのぎ、助成制度を活用して今年の夏を快適、健康に過ごしていただきたいと思います。